

## ●「民泊農業体験」受け入れに向けて心の準備

### 小さな成功体験を大事に。

学生に限りませんが、小さな成功体験で自信をつけることで、人はどんどん大きなチャレンジをできるようになっていきます。中学生は社会性が発達し、誰かと比較して落ち込んだり悩んだりする発達段階ですので、小さなことでも「出来たこと」を認めたり褒めてくださると子どもたちの自信につながります。進路選択の基礎を作る中学校時代に町内の多くの方と出会う機会を作ると同時に、町を担う大きな可能性を秘めている人材を町全体で育てたいと考えています。

### 指示は明確に。

やったことがないことばかりのため、「適当にやっておいて」の適当さが生徒は分かりません。お手数ですが、「終わったときにどうなっていたらOKなのか」「ここまではやってほしいと期待していること」などは伝えてくださいますようお願いいたします。

## ●各家庭でお願いしたいこと

### 食・それを支える農業は全ての基本です。

私たちの身体は、食べたもの、睡眠によって作られていきます。だからこそ、大事な食を支える農業について子どもたちに「事実」を知ってほしいと考えています。働き方が変わっていくように、今はITやロボットなど使った先進的な農業も生まれています。「農業は大変だ」「無理だ」と決めつけず、暖かく見守ってくださいますようお願いいたします。

### 日々の食に少し意識を向けてみましょう!

人は1日に3万回決断しているそうです。そのうち無意識にしている意思決定は40%。

私たちはつい「お腹が空いたから買う」「時間になったら食べる」と食について無意識の流れ作業になってしまいがちです。

買い物時や食卓での会話の際、この食べ物は何からできているのか? どこで収穫されたものなのか? どうやって私たちの元まで来たのか? 意識を向けてみましょう。



the most beautiful  
villages  
in japan

【お問い合わせ】

☎0967-42-0047

 南小国町教育委員会

〒869-2401 熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場144-1

 南小国町立 南小国中学校

〒869-2401 熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場1833

TEL 0967-42-0034

ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/moguni/>



チャレンジする  
協働できる子どもを育てる

# 民泊農業体験



南小国中学校



「民泊農業体験」に関する問合せ先

 南小国町教育委員会 ☎0967-42-0047





What's

## 民泊農業体験って何？

**南** 小国中学校の「民泊農業体験」は、民泊受け入れ農家に2泊3日滞在させていただきながら、1日の仕事の流れを学び、農業に対する思いを知り、収穫物を活かした料理を作り上げていく体験学習プログラムです。

**南小国町の基幹産業である農業。**  
また民泊受け入れ農家の方のご協力があるからこそその本事業。

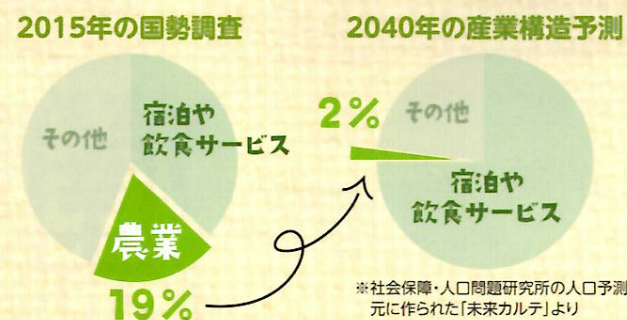
民泊農業体験は、地域の方々のご協力のもと、社会に開かれた教育として

“地域の方々と一緒に次世代を育てる協働型体験学習”です。

## Why なぜ民泊農業体験が始まったの？

**2** 015年の国勢調査で南小国町の就業者人口が多い職種は 第1位:宿泊業・飲食サービス業(37%)、第2位:農業(19%)です。

現在のまま人口が推移をすると、2040年には 第1位:宿泊業・飲食サービス業(75%) 第2位:農業(2%) という産業構造予測がされています。



農産物は通常、食材として都市のレストランへ売られます。地方には農産物の代金が入り、その材料を使ったサービスは都市圏で消費されます。農産物をブランド化して高く販売することは対価は多く入りますが雇用や消費は町外に移っていきます。しかし、町内のカフェ・レストラン、宿泊施設で地域の農産物を利用すれば、地域の農業が元気になり、地域の景観が維持され、観光振興・地域の雇用にも繋がります。

農業は私たちの身体を作る食べ物を作り出す大事な仕事。そして、子どもたちを含めた次世代の身体を作り出す給食の材料でもあります。

**どんなに社会が変わっても食がなくなることはありません。**  
宿泊業・飲食サービス業も地域の農産物があるからこそ「地域ならではの食」が生まれます。

「農業・食について誰もが考える機会を作る」「机上ではなく、実践から感じる」ことを大事にしたいと考え、町の皆様のご協力のもと「民泊農業体験」が2019年度から始まりました。

## Merit 民泊農業体験を実施するメリット

**民** 泊農業体験にくる生徒は農作業の即戦力になりません。しかし、これからの世界で無視できない世代が1995年から2010年の間に生まれた「Z世代」とされる若者たちです。Z世代は、いままでは世界人口の3分の1を占めており、購買力は世界で約15兆円に達し、国際貿易戦争を再燃させるだけのパワーがあります。町に住む大人と今の中学生たちが共に時間を過ごし、考え、Z世代の若者ならではの視点や感性とともに農業や食を考えることは、次世代の農業や食を生み出すきっかけになると考えています。

Flow

## 民泊農業体験の流れ

### ヒアリング

○ お世話になる農家にご連絡し

- 自己紹介
- 収穫物についてのヒアリング

### 料理調査 アイデア出し

○ インターネット等を利用し、料理候補を複数出す。

### 事前訪問

○ 宿泊する農家に事前に訪問させていただく

### 講話



○ 若手農家の方からお話いただきます。

- 現在のお仕事
- 農業という仕事の魅力
- これからこの仕事はどう変わっていくのか
- 今感じていること

### 1日目 午前

#### 農産物加工体験



○ 2019年度はピクルス、ジャム、こんにやくを作りました!



### 午後

- 民泊農家に移動
- 農作業体験
- 収穫物を活用した料理試作

### 2日目

- 農作業
- 収穫物を活用した料理試作
- 料理紹介プレゼンテーション作成



### 3日目

- ランチバイキングに向けて料理
- 会場にて見本品を一品用意し、その他は陳列
- 料理への想いをプレゼンテーション
- 来場いただいた方に食べていただく
- 修了証授与

